

授業科目 病理学

【担当教員名】 石田寛友、大西義久、山本通子	対象学年	2	対象学科	理学・作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】

病理学は疾病の原因とその成り立ち（病態発生）についての学問で、医学・医療分野の基礎的科目の1つである。

種々の疾病に関して、その原因を明らかにし、その原因が生体にどのように作用し、生体がどのように反応し、その結果どうなるかを
知することは、疾患の診断・治療・予後を理解するのに役立つ。

授業では病理学総論を中心に学習する。

【學習目標】

- 1) 退行性病変(変性、萎縮、壊死)および進行性病変(再生、化生、肥大、過形成)について学ぶ。
- 2) 創傷治癒過程と炎症の時間経過、生体の反応について理解する。
- 3) 循環障害、とくに梗塞、血栓症、塞栓症について具体例を含めて理解する。
- 4) 免疫とは何かについて、免疫系の全体像を把握し、アレルギー疾患や自己免疫疾患を理解する。
- 5) 感染症の成立要因と防御機構、病原微生物の種類、代表的疾患について学ぶ。
- 6) 腫瘍の定義、命名法、分類法、生物学的特性を理解し、検査データなどの臨床的事項も学ぶ。
- 7) 蛋白質、糖質、脂質およびミネラルの代謝異常について学習する。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO
			番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	病理学とは	病理解剖の映画・病理診断	講義：大西義久
2	細胞の生と死の病理学	懐死、類懐死、修復と再生	講義：大西義久
3	骨折と創傷の治療	進行性病変	講義：大西義久
4	循環障害	充血とうっ血、血栓、塞栓、梗塞（心筋梗塞）、出血、ショック、脱水症	講義：大西義久
5	アレルギーと免疫1	基本様式	講義：山本通子
6	アレルギーと免疫2	自己免疫	講義：山本通子
7	古典的炎症	肺炎	講義：山本通子
8	腫瘍1	腫瘍とは	講義：石田寛友
9	感染と感染症	細菌、ウイルス、エイズなど	講義：山本通子
10	腫瘍2	腫瘍の進展（胃ガンと骨肉種）	講義：石田寛友
11	代謝1	代謝異常	講義：山本通子
12	腫瘍3	特殊な腫瘍	講義：石田寛友
13	代謝2	代謝異常	講義：山本通子
14	腫瘍4	腫瘍の分類、遺伝と先天異常	講義：石田寛友

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	シンプル病理学		南江堂	2900円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
--------	-----------